

クイック壁高欄



特長

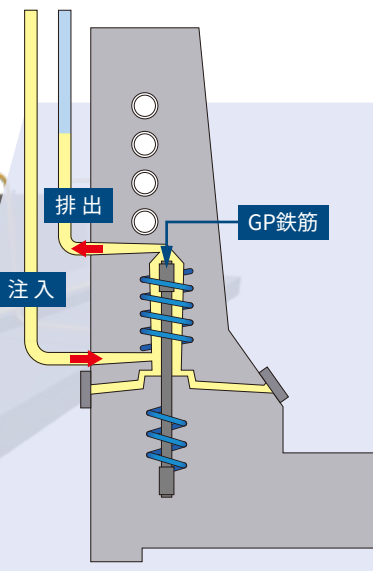
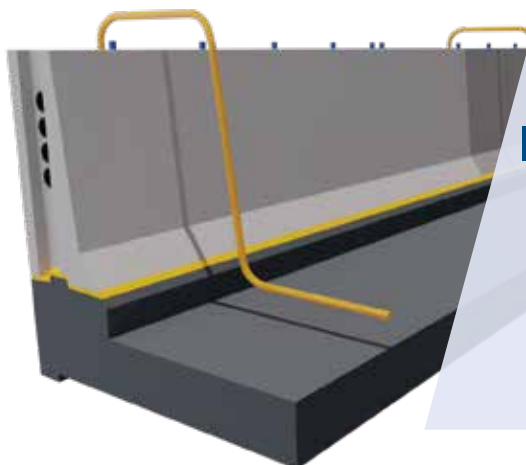
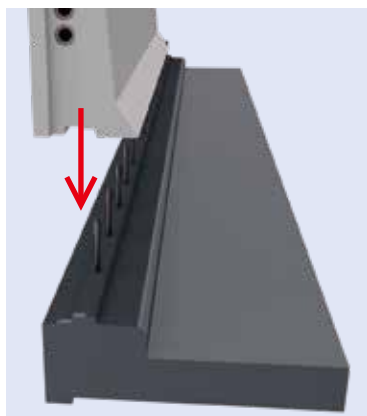
1 SS種の衝撃度に対応 新たにSS種対応型を規格に追加

従来のSB種対応型に加え、新たにSS種対応型を製品規格に追加しました。「防護柵の設置基準」に示された「新幹線などと交差または近接する区間」への設置が可能になりました。

	SB種対応型	SS種対応型
衝突速度	65 (km/h)	100 (km/h)
衝撃度	280 (kJ)	650 (kJ)

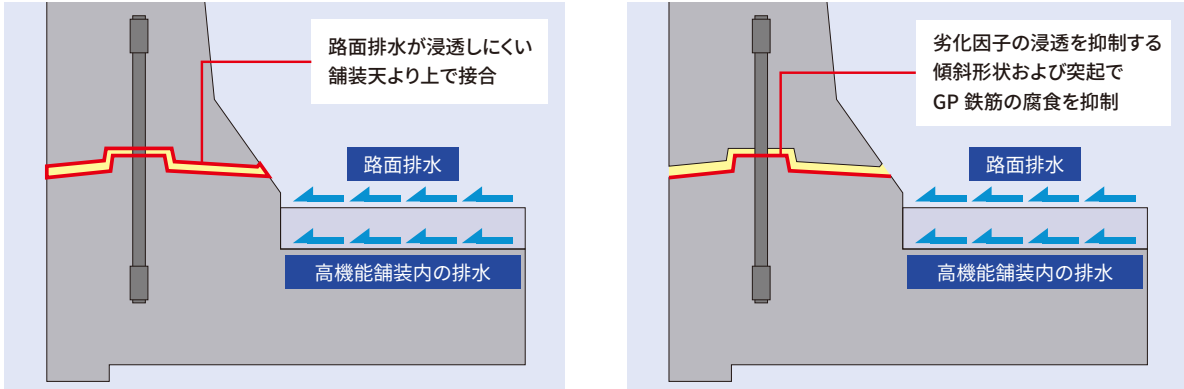
2 急速施工 急速施工のポイントは、GP鉄筋とせん断キー[特徴5]

床版との接合は、床版から突き出したアンカーボルトに壁部材ブロックを被せ、無収縮モルタルを充填して完了。シンプルな接合構造によって急速施工を実現します。



3 耐久性 路面排水が浸入しにくい接合位置とこだわりの形状

床版との接合面を、路面排水が浸透しにくい高さに配置。凸凹形状と相まって劣化因子の浸入を抑制します。



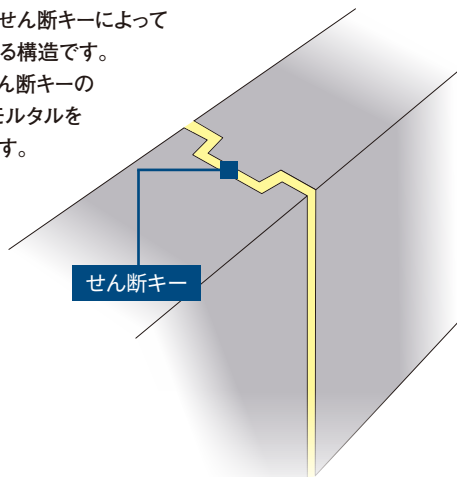
4 GP鉄筋 異形鉄筋の両端部に鋼管パイプを圧着。鉄筋の引張強さを保証

グリップを圧着した鉄筋にエポキシ樹脂塗装を施した高耐久なアンカーボルトを使用します。



5 せん断キー ブロック間目地はせん断キーのみ

壁部材同士は、せん断キーによって荷重が伝達される構造です。接合作業は、せん断キーの間隙に無収縮モルタルを充填して完了です。



アンカー材規格

	SB種対応型	SS種対応型
名称	GP鉄筋	GPアンカー
材質	SD345	SNB7
降伏点(耐力)	345-440N/mm ²	725N/mm ² 以上
呼び	D22	M22
両端処理	鋼管を圧着	高ナットを固定
表面処理	エポキシ樹脂塗装	

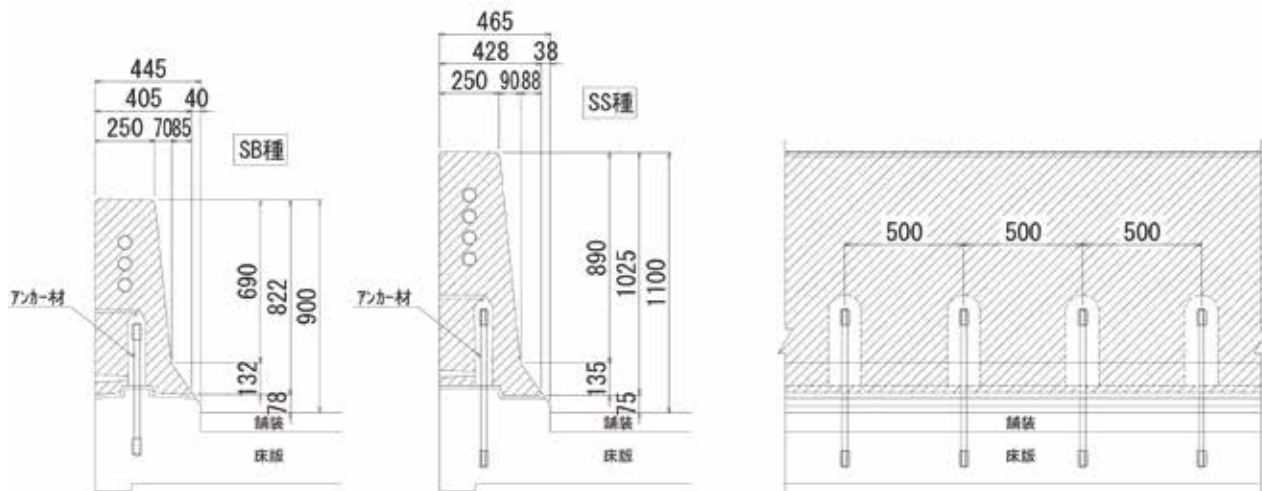
安全性

各種基準に準拠して車両衝突に対する安全性を確認しています。

	SB種対応型	SS種対応型
試験方法	実車による衝突試験	台車による衝突試験
準拠基準	NEXCO 構造物施工管理要領 防護柵の設置基準	NEXCO 構造物施工管理要領 NEXCO 試験法441
実施状況		

※NEXCO 総研に性能証明書を提出・受領済み

形状寸法およびアンカー材の標準配置



※オプションで、通信管路、遮音壁又は落下物防止柵アンカーボルト、剥落防止対策も対応可能です。

※右図は中間ブロックのアンカー材標準配置です。端部ブロックは端部から1mの範囲に4本配置します。

※製品長につきましてはご相談下さい。

クイック壁高欄の施工手順

① 準備工



■ 現地確認

施工に先立って、床版の施工状態、アンカーボルトの設置状態などを確認します。



■ ライナープレート設置

ライナープレートの必要厚さは、測量の上、事前に確認して下さい。

取扱地域 **北海道** **東北** **関東** **中部** **北陸** **近畿** **中国** **四国** **九州** **沖縄**

② 据付工



■ 搬入

クイック壁高欄は、寝かせた状態で運搬・搬入します。



■ 建て込み

GP鉄筋の位置を確認しながら、アンカーボルト孔に当たらないように壁部材をゆっくり降ろしていきます。

③ 型枠工



■ 目地型枠の取付

エスセイバーH2 は非常に流動性が高いため、型枠の取付は隙間が生じないように慎重に行ってください。



■ 注入・排出ホースの取付

ホースは抜け落ちないように、注入・排出孔にしっかりと差し込んで下さい。

※写真は無収縮モルタルを充填完了した状態です。

④ 無収縮モルタル充填工



■ 充填作業A

すべての排出孔からの排出を確認します。排出が確認できたホースは速やかに折り曲げて閉じるようにして下さい。



■ 充填作業B

鉛直目地部の充填は目地天端部から行います。

⑤ 養生・脱型・仕上げ



■ 仕上げ

無収縮モルタルがコンクリート表面から突出している箇所等は、必要に応じて、研削砥石等で仕上げを行ってください。



■ 施工完了